令和３年度　志教育実践事例

宮城県蔵王高等学校

本校の特色の一つであるＺＡＰ（蔵王あすなろプロジェクト）の探究活動を通して，地域に貢献できる人材を育成することを目指して平成２８年度から取り組んでいる。各活動を通して，生徒一人一人が地域の方と「かかわる」ことで，地域での役割を「はたす」ことを通して，地域の課題解決や生徒の進路決定を「もとめる」ことにつながるものである。

１　地域と「かかわる」

（１）１学年ＺＡＰで「職業講話（農作業体験）」（５月２８日）

昨年度本校ＰＴＡ会長でもあった梨農園の経営者，菅野浩一氏のはからいで，今年度も職業講話の一環として農作業体験をさせていただきました。実の一つ一つに栄養が行き渡るように育ちの悪い実を間引く「摘果作業」を体験しました。生徒たちは真剣に説明を聞き一生懸命に作業に取り組みました。普段，食べている梨とは違う成長する前の実を見て，生徒たちは驚き，また摘果する意味を理解しているようでした。実際に作業を共にしながら聞かせていただく菅野氏のお話は，果樹栽培に長年携わってこられた経験と深い知識が詰まっており，同時に自らの仕事に対する自負と信念が感じられました。真剣に仕事に向き合う姿勢は，生徒たちが働くことの意義について考えるきっかけとなりました。

また，蔵王町の主要産業の一つである果樹栽培について体験を通して学ぶことで，自身の生活する地域について理解を深めることができました。

（２）１学年 ZAP で「蔵王魅力発見講座」（７月１６日）

蔵王町環境政策課ジオパーク推進室から佐藤良行氏をお招きし，「蔵王ジオパーク構想～蔵王町における持続可能な地域づくり」とのテーマで講話をしていただきました。古来から地域住民が蔵王山をどのように捉えられてきたかといった歴史的な側面や，蔵王山を中心とする地理的な特徴の恩恵を受けて，蔵王町が農業と観光の町としてどのような資源を持っているのかといった産業的な側面について，分かりやすく説明していただき，生徒たちは地域の魅力を再認識していました。また，そのような魅力ある町をより効果的に保全・保護したり，活用したりできる「持続可能な地域」づくりのための手立てとして，「蔵王ジオパーク構想」を推進されているというお話もしていただき，生徒たちは真剣に聞き入るとともに，大切な地域資源を守り，未来へつなげるという新しい地域貢献の視点を得られたようでした。

（３）１学年ＺＡＰで「企業人に学ぶ」（１２月３日）

地域で活躍する企業経営者の講師による講演会を実施しました。地元を盛り上げている起業家の有限会社アトリエデリス代表取締役　佐々木文彦氏を講師に迎え，地域を盛り上げようとする熱い思いや高校生時代の思い出や考え方，さらに社会におけるコミュニケーションの大切さ等を熱くお話ししていただきました。生徒達にとってこれからの学習の糧となる話になりました。さらに一人ひとりの進路を考える機会にもなりました。

２　将来の進路を「もとめる」

（１）２学年職業体験学習（インターンシップ）（令和３年１１月４日）

　今年度は，当初予定していた９月１日～３日の職業体験が新型コロナの影響で延期となり，１１月４日に１日だけの実施となった。予定していた企業や，郵便局，保育所には日程の変更でも対応していただいた。１日という限られた時間の中で，販売や接客，事務，介護，保育の仕事など多様な経験をさせていただいた。短い時間ではあったものの生徒は，各事業所の方々と関わる中で挨拶やマナーの重要性，積極的に行動する姿勢を培うことができた。本経験は，卒業後の進路を考える上で，生徒自身の適性や理想とする社会人像に影響をもたらした経験であったといえる。

（２）ＺＡＰ等学習発表会（令和４年１月２７日）

　今年度は，新型コロナの影響で急遽蔵王町ふるさと文化会館での実施を中止し，本校でのリモートでの発表とした。全学年で総合的な探究の時間を中心に取り組んできた活動内容を３部構成で発表しました。大きな会場で発表する機会は失われましたが，リモート用のカメラの前で発表することも一つの経験として貴重なものとなりました。発表会の様子は，DVD にし当初案内していた方々に配りました。発表会を通して課題解決力やチャレンジ精神・プレゼン力などが育まれ，地域住民や周辺中学校へ蔵王高校生の魅力をＰＲするよい機会になったと思われる。

３　地域の役割を「はたす」

（１）壁面飾りのメッセージの作成（６月～７月，１０月～１１月）

「子どもの発達と保育」の授業において，地元の保育園や幼稚園に実習に行き，メッセージ入りの壁面飾りを制作し寄贈しました。園児たちとのふれあいは新型コロナ感染対策を十分にして行い，園児たちの喜ぶ顔を見て充実した実習を行うことができました。一生懸命に制作出来たことはとてもよい学びとなりました。

（２）蔵王町図書館へしおりの寄贈（８月～１０月）

　福祉の授業として，授業選択者１１名が一つ一つ丁寧に手作りのしおりを６０個程作成し蔵王町図書館へ寄贈しました。コロナ禍の中で自分たちが出来ることを考え行動にうつす事が出来たことはとても良い経験をさせていただきました。

（３）蔵王町朗読ボランティア（令和３年７月８日）

　生徒会の生徒が音読ボランティアとして，蔵王町の歴史等に関する書籍の朗読し録音した。地域貢献の気持ちを育むことができた。普段なかなか音読をしない生徒たちも，ただ読み上げるのではなく聞く人の気持ちを考え聞きやすい読み方を意識し練習することで，相手に伝える事の大切さを学ばせていただきました。また，広報担当の方にも生徒の参加を歓迎して頂いた。